

# 令和5年度 ICTを活用した障害のある生徒等に対する指導の充実事業 (病気療養中等の児童生徒に対するオンデマンド型の授業に係る調査研究事業)

岐阜県教育委員会

## <趣旨>

ICT機器の充実、国の制度改正等で、入院生徒への学習支援の環境が整い、同時双方向型の授業で学ぶ生徒は増加した。また、広報手段として、平成30年度にリーフレット「復学支援マニュアル」、令和4年度に「高等学校における特別支援教育」を製作、発行した。

今回は、同時双方向型の授業に加えて、オンデマンド型の授業を実施するためにICT機器の整備や授業内容の研究、教材開発を行う。

## <目的>

- 1 治療等で出席できなかった授業もオンデマンド型の授業で学べることで、生徒の学習への満足度を高める。
- 2 医療機関や地域、学校（高等学校・中学校）への効果的な広報活動を通して、一人でも多くの生徒が、高校進学や将来の希望をあきらめず、治療に向き合う意欲を高める。

## <令和5年度 研究と成果>

- 1 オンライン授業の実践
- 2 研修会の実施
- 3 リーフレットの発行

## <運営組織>

### 運営協議委員

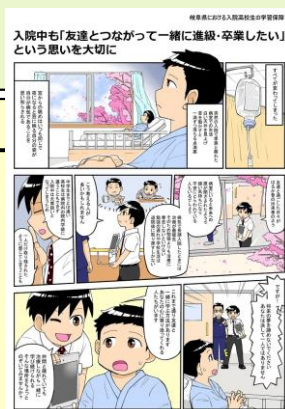
- ・医療機関（医師）
- ・大学教員
- ・高等学校校長
- ・特別支援学校校長

### 研究委員

- ・医療機関（看護師、MSW、臨床心理士）
- ・中学校、高校、特別支援学校教諭

### 運営協議会（年2回実施）

内容、方針について検討、研究委員からの報告、運営協議委員からの指導助言



## 生徒在学校、病院、保護者、病弱教育コア・スクール、教育委員会の連携体制

